

『せー（せー）のっ！！』4歳児 5月



エピソード

A、B、C児は砂場に道を掘ったり、そこに水を流したりすることで川ができることを楽しみ、繰り返し遊んでいました。A児は長いスコップで道を伸ばしていき、B、C児は砂場の端でタライに水が溜まるのを待っていました。

A児：ここに水がもっている！！ ①
(スコップで砂を数回突き、場所を知らせる)

B児：いくよ！！
(タライを自分とは反対側に傾け始める) ②

C児：まだや！まだあかん！足りひん！ ③
(眉間にしわを寄せながら、両手でタライに体重をかけ、傾きを戻そうとする)

B児：いけるやろ！こんなに溜まってるで！ ③
(タライ手前を傾けて揺らし、流そうとする)

A児：いいで～！
(砂場の端にいるA、B児に聞こえるよう大きな声で言う)

B児：いいでって！

C児：よしいこ！

B児：せー！
(慌てた様子でC児より先に流そうとする) ④

C児：せー！
(素早く掛け声を始めるB児を、慌てて追いかけるように言う) ④

B児：のっ！！

C児：のっ！！

水が砂場一面に流れるとB、C児は「キャー！！」「わあー！！」 ⑤と叫んだり手を叩いて喜んだりし、A児も「おおー！きてるきてる！」と、自分が掘り進めた足元の道に水が流れて来るのを嬉しそうに目で追っていました ⑥。

子どもの育ちや学び

- ① “砂を掘って水を流すと川のように流れてくる”
→ これまでの経験からの考え 【育ち】
- ② “水を流すためにはタライを傾けたらいい”
→ これまでの経験からの考え 【育ち】
- ③ B、C児 友達と思いを伝え合う 【育ち】
自分とは違う思いを知る 【学び】
- ④ B、C児 友達存在を強く意識する 【育ち】
- ⑤ 水、泥の動きや形の変化に気づく、面白さを感じる 【学び】
- ⑥ 水や泥の動きへの興味、予想に対する確認 【学び】

保育者の思い

- ◎ 水を存分に使って遊ぶ楽しさを味わってほしい
- ◎ 思いを進んで出しながら遊ぶことを楽しんでほしい
- ◎ 砂や水などの様々な事象の面白さに気づいたり味わったりしてほしい
- ◎ 自分の思いを進んで出しながら楽しんでほしい
- ◎ 自分とは違う気持ちや思いがあることにも気づいてほしい
- ◎ 友達と一緒にすることで感じる面白さや楽しさを感じてほしい

家庭だったら・・・

- ・お風呂場で思い切り浴槽の水や洗面器の水を流して遊ぶ。
 - ・牛乳パックでコースをつくり、ペットボトルキャップやスーパーボールなどをコースに置いて水を流して遊ぶ。
- すると・・・水の面白さを感じて遊ぶ姿が見られるかもしれません♪

☆バシャーンッ！！という水の音、勢いよく流れていく水の様子を楽しむ。

☆「白キャップまで届いた！」「青キャップは動かんかった」など、キャップなどの動きに気付いて水の行方を追ひ、繰り返し水を流したりキャップの場所を変えるなど試してみたりする。